

海況速報（クロロフィルa分布）

平成29年2月24日

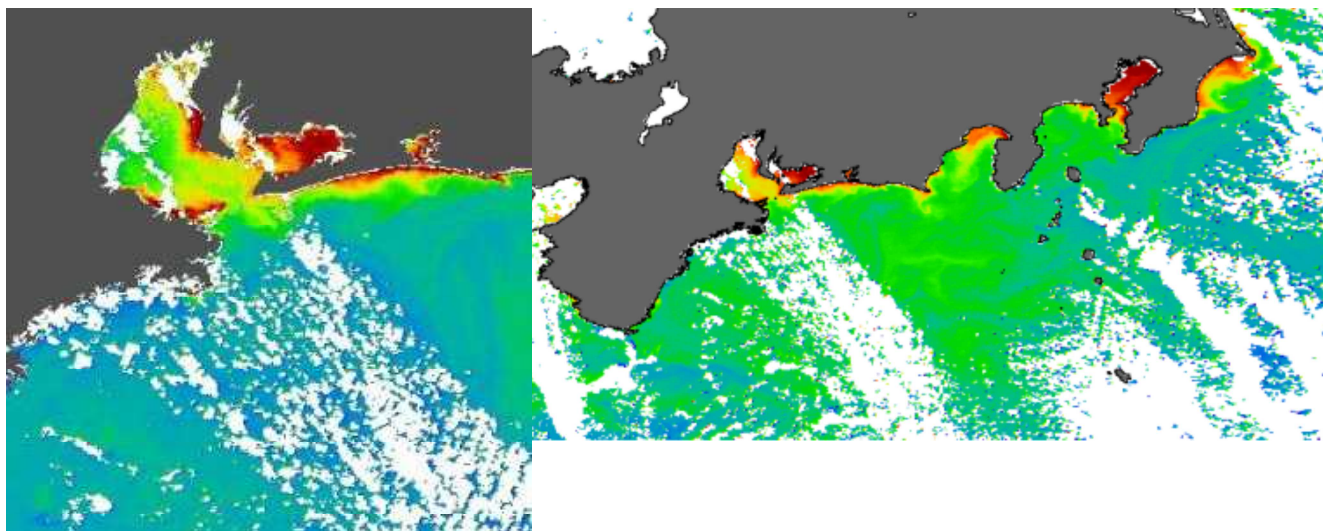
愛知県水産試験場 漁業生産研究所

2月21日の人工衛星クロロフィルa画像を見ると、クロロフィルa濃度は、内湾域では、三河湾湾奥部や知多半島西部沿岸で高く、伊勢湾湾奥部でやや低くなっています。広域図を見ると、黒潮内側域では、伊豆諸島海域～熊野灘にかけてやや高くなっています。

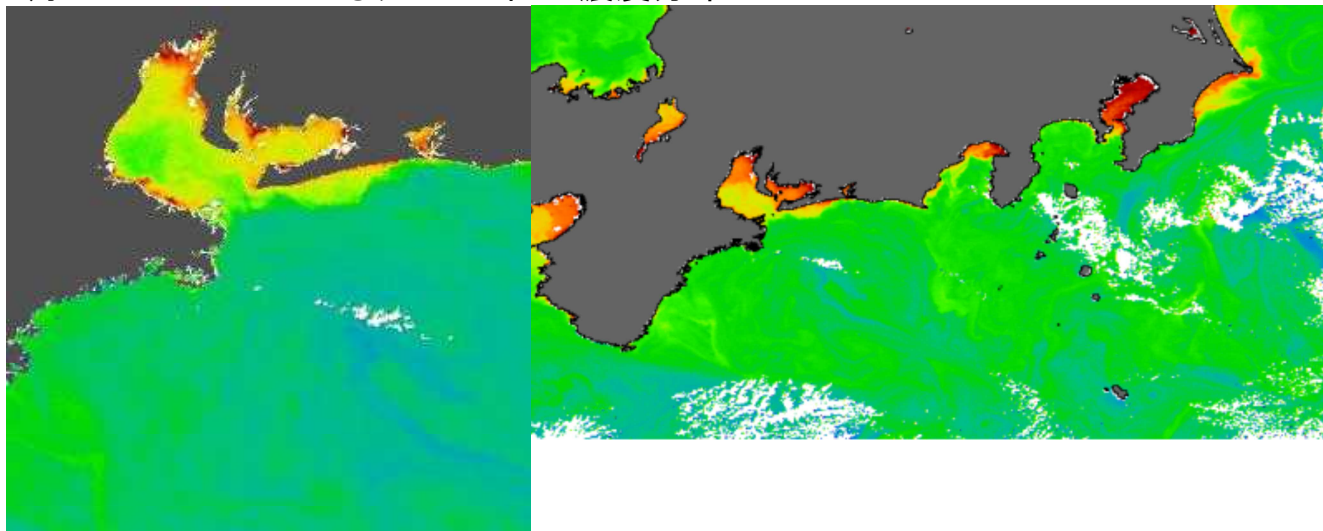
クロロフィルa濃度の変動を見ると、全ての海域において、約1～2週間の周期で変動しています。1月～2月にかけて、伊勢湾、三河湾、湾口域ではやや低下、渥美半島沿岸域、渥美外海では横ばいの傾向となっています。

(宇宙航空研究開発機構(JAXA)／東海大学(TSIC/TRIC)提供のMODIS画像)

2月21日のAQUAによるクロロフィルa濃度分布



2月16日のAQUAによるクロロフィルa濃度分布



※画像データによるクロロフィルa濃度は、実際の濃度と異なる場合があります。また、詳細図と広域図で内湾域の濃度に誤差が生じることがありますので、目安としてご利用ください。

海況速報（クロロフィルa濃度の変動）

平成29年2月24日

愛知県水産試験場 漁業生産研究所

人工衛星 AQUA に搭載された MODIS センサーから得られた表層クロロフィル a 濃度をモニタリングしています (2月22日までのデータ)。

